

平成29年度 学 校 経 営

白根巨摩中学校

学校は、生徒にとって居心地のよい、安全で、快適な生活の場であり、学ぶ楽しさと生きる喜びを味わえるところでなくてはならない。また、生徒は未完成の人格の持ち主であるが、多くの可能性を秘めた存在でもある。こうした生徒は、みな異なった個性を持ち、多くの経験を重ねることによって磨かれ、大きな人格形成が図れる。こうした観点に立ち、生徒が活躍できる場をより多く提供し、学ぶ意欲と生き生きとした活動が展開できる学校づくりを目指していきたい。

今年度は、基礎的・基本的な事項の定着と主体的・対話的で深い学びの実現、及び個性を生かす教育の充実を考慮する中で、思考力・判断力・表現力の向上を図ると共に、今日的な教育課題となっている「自ら学ぶ力と確かな学力」の定着、「豊かな心」の育成と「開かれた学校づくり」等の推進をめざし、全教育活動を通して実践していきたい。また、新学習指導要領の内容を周知・徹底し、見通しを持って全面実施が迎えられようような取り組みをしたい。

そして、これらの活動を推進するために、教職員一人一人が学校運営を担っているという意識を持ち、各人がそれぞれのポジションにおいて、知恵を絞り、体を動かし、汗を流し協働して取り組み、主人公である生徒の教育に責任を持つ中で特色ある学校づくりを進めていきたい。

1 学校教育目標

学校教育目標は、本校の教育活動の根幹をなすものであり、生徒に「こんな生き方をしたい」と願う「期待像」である。また、地域や保護者の信託にこたえるための「願い」でもある。従って、教育活動のあらゆる場でその実現を目指すものである。

【学校教育目標】

『やる気をもった人間性豊かな生徒の育成』

- (1) 強い体と心をつくる。(心身の健康)
- (2) すなおに見聞きし、考えて行動する。(考えて行動)
- (3) 美しいものを愛し、自分を創り出す喜びを知る。(創り出す喜び)
- (4) 働くことを好み、力を合わせてがんばりぬく。(やりぬく力)

2 めざす学校像

- (1) わかる授業、楽しい授業づくりを進める学校
- (2) いじめがなく、安心して生活できる学校
- (3) 明るいあいさつができ、いつもきれいな学校
- (4) 豊かな心、思いやりのある行動がとれる生徒のいる学校

3 めざす生徒像

- (1) 学ぶ喜びを知り、主体的に学習する生徒
- (2) お互いを高め合う心豊かな生徒
- (3) 仲間を大切に思いやる心優しい生徒
- (4) 心身ともに健康でたくましく生きる生徒

4 教師の信条

- (1) 生徒をこよなく愛し、ふれあいを持ち、生徒とともにある教師
- (2) 日々研修に励み、資質と力量を磨き、指導力の向上に努力する教師
- (3) 保護者、地域の人々と連帯してともに進み、信頼され敬愛される教師
- (4) 礼節を重んじ、組織体の一員として協力し仲間とともにある教師

5 学校経営方針

教育基本法、学校教育法、及び学習指導要領等の精神に則り、県教育委員会、市教育委員会の重点施策に従い、本校の伝統、時代の要請、生徒や地域の実態を十分考慮し、次に示す事項を基本方針として創意工夫を生かした特色ある学校づくりを目指す。

- (1) 各教科・領域における基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、今日的課題に対応し、たくましく生きることのできる力を育てる教育の充実に努める。
- (2) 自分に誇りをもち、自己実現に向けて努力することの大切さや、仲間との交流や自然と共生することの大切さを理解させる心の教育の充実に努める。
- (3) 危機意識を高め、自己管理能力を育てる健康・安全教育の推進に努める。
- (4) 地域の教育力を積極的に活用し、学校や郷土を愛し、誇りに思う生徒の育成に努めるとともに家庭や地域との連携を深め、信頼感に支えられた学校づくりの推進に努める。
- (5) 教師として自らの研修を計画的・組織的に進め、専門職としての教職員一人一人の資質や力量の向上を図る中で、全職員の個性や創意を生かした活力ある学校運営の推進に努める。

6 学校経営の重点

※本年度も引き続き、以下4活動を柱にそれらの均衡を保ちながら次の重点項目を追求していく。

【学力の向上】

【修学旅行・甲斐路巡りなど系統的行事の充実】

【合唱活動の推進】

【部活動の推進】

(1) 授業改善に努め、基礎的・基本的な学力の定着と教科指導の充実に努める。

- ・ 授業時数の確保と基礎的・基本的な内容の指導徹底を図る。
- ・ 校内研を充実させ、わかる授業・楽しい授業・意欲を高める授業及び指導方法の工夫に努める。
- ・ 「やまなしスタンダード」の定着を図る。
- ・ 予習・授業・復習の学習習慣と自ら学ぶ態度の育成を図る。
- ・ 生徒のよい点や進歩の状況等の積極的な評価と指導の過程や成果の評価による指導の改善に努める。(指導と評価の一体化)

(2) 学校教育活動すべてを通して「豊かな心」をもった生徒の育成に努める。

- ・ 生命尊重、人権尊重の精神を大切にし、いじめを絶対に許さない、仲間を大切にす健全な学校生活の実現に努める。
- ・ 自分や仲間を大切にし、集団の一員として思いやりのある生徒の育成に努める。
- ・ 基本的な生活習慣(あいさつ・時間を守る・身だしなみ・美化)等の確立を図る。
- ・ 「心に響く道徳教育」を計画的、系統的に行い、豊かな心・思いやりの心を育む。
- ・ スクールカウンセラーとの連携、教育相談体制の充実と個に応じた指導の充実により、不登校生徒の解消に努める。
- ・ 地域と連携し、体験活動を生かし、地域人材を活用した開かれた道徳教育、福祉教育、ボランティア教育等の推進に努める。
- ・ 朝読書、日常の読書活動を通し、心豊かな生徒の育成に努める。

(3) いじめの根絶を目指す中で、生徒の心と向き合う生徒指導の充実に努める。

- ・ 教師と生徒との信頼関係をもとに生徒理解に努め、生徒が自主的に判断し、行動できるように生徒指導の充実に努める。
- ・ 一人一人の生徒との触れ合いを大切にし、良さを見つけ、認め、励まし、伸ばす学年・学級経営の実現に努める。(生徒とのコミュニケーションづくり)
- ・ 常に生徒の心身の状況、生活状況の的確な把握に努める。(いじめの早期発見)
- ・ 自分の行動に責任を持ち、時と場をわきまえた判断力と自己表現力を持つ生徒の

育成に努める。

- ・ 挨拶の励行、正しい言葉遣い、清潔な服装・身なりなど基本的な生活習慣の定着を師弟同行の考え方の中でその実践に努める。
- ・ 学校生活の中の生徒の様々な信号の「受容」を大切にし、生徒の心と向き合い、日常的な「心」や行動の変化に気を配り、生徒の発する信号を見逃さないよう努める。
- ・ 自己理解を基盤とし、自己実現をめざす進路指導の充実に努める。

(4) 生徒会活動・部活動の推進に努める。

- ・ 生徒会活動や部活動を通して、自ら判断し行動する力や健全な心身の育成、競技力の向上に努める。
- ・ 生徒の自治活動を通して社会性や規範意識を育てる。
- ・ これまでの成果を生かし生徒会活動のより一層の充実に努める。
- ・ 部活動を生徒一人一人の心と身体の発達への援助活動の一環とし、生徒にとって魅力ある部活動の創造に努める。(生徒の意見を大切にしたい生徒による部活動の運営)
- ・ 部活動の教育的意義に基づき、生徒及び指導教師が心にゆとりをもって取り組めるように努める。

(5) 保護者、地域社会との信頼関係に基づいた教育活動に努める。

- ・ 保護者や地域の人々の気持ちを受けとめ、共感しながら協働を通しての信頼関係に努める。
- ・ 学級・学年、学校だよりを通じて日常の教育内容・教育活動の周知に努める。
- ・ 地域や保護者からの意見や情報を積極的に得る工夫をするとともに、学校評価を通し、教育活動の活性化を図る。
- ・ 地域人材の活用、地域の活動への積極的な参加を進め、生まれ育った故郷、生活している地域を知る活動に努める。

(6) 生徒自らが、心身ともに健康で安全な学校生活を営む力の育成に努める。

- ・ 安全な学校生活を送るための啓発教育の実践に努める。
- ・ 健康な身体づくりをめざし、健康で安全な生活習慣を身につけさせる。

(7) 生徒一人一人の正しい理解と認識にたった特別支援教育の充実に努める。

- ・ 全教師の共通理解の中で連携を密にし、より確かな生徒理解のもと指導に努める。
- ・ 基本的な生活習慣、基本的な知識を身に付けさせ、自ら学び、自ら考え行動できる力を身に付けさせる。

(8) 基本的生活習慣の確立のため《4つのこだわり》を常に念頭に置き指導する。 《4つのこだわり》 【清掃】 【あいさつ】 【服装】 【時間】

- ・ 生徒会、学年生徒会、学級会等の取り組みに取り入れ、白根巨摩中全体で創っていく意識を持たせる。
- ・ 教師自身も率先して師弟同行の考えの中で実践に努める。

7 今年度の重点取組事項

- (1) 学力向上
- (2) 道徳教育
- (3) 四つのこだわり

(内容については、平成29年度白根巨摩中学校指導重点による。)